

1	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102032	プロダクトライフサイクルのためのデジタルセマンテック製品モデルの研究開発	岸浪 建史(北海道大学・理事(副学長))	A
<p>(意見等)</p> <p>プロダクトライフサイクルのための製品モデルという、長年にわたり懸案とされてきた課題に挑戦し、一定の成果を挙げたことは評価できる。中間評価を受けて、研究課題を絞り込むとともに、体系化・具体化し、それらの課題について優れた成果をあげている。</p> <p>一方、研究課題の絞り込みにより目標が後退し、研究申請時の当初の狙いは必ずしも十分に達成されてはいないように考えられ、この点については今後の継続的な研究に期待したい。</p>				
2	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14104026	嗅覚受容体遺伝子の発現制御と軸索投射	坂野 仁(東京大学・大学院理学系研究科・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>嗅覚神経系研究において、明確な研究目的の設定と適切な手法が用いられ、当初の研究目的を達し、本研究分野の進展に対して大きな貢献がなされたと判断される。</p> <p>中間評価後も指摘された問題点を追究し、研究の達成度も高い。激しい国際競争のなか、研究成果の質の高さ、関連分野への波及性、研究費の使用状況について、いずれも高い評価を得ている。</p> <p>総合的に判断し、本研究は研究目標を十分に上回る成果があったと評価できる。</p>				